

キラリと笑顔が輝くまち

とばぐらしの魅力を再発見

企画財政課移住・定住係 ☎ 25 1227



市では、移住相談のワンストップ窓口を設置し、都市部からの移住希望者を積極的に受け入れるため、切れ目ないきめ細やかな移住支援に取り組んでいます。

鳥羽へ移住してイキイキと生活している移住者のかたにスポットを当て、普段当たり前に感じている暮らしの中にある魅力を再発見したいと思います。

今回は、7月に千葉県から鳥羽市へ移住し、地域おこし協力隊として活動する上田茉莉子さんに鳥羽市での生活についてお話をさせていただきました。

地域おこし協力隊とは、都市部から地方へ移住し、農林水産業への従事や地域の生活支援など、その地域の課題解決に向けた「地域協力活動」を住民のみならずと共に行いながら、その地域の活性化と定住を図る取り組みです。



地域おこし協力隊

石鏡町活性化～海女のまち暮らし～担当

上田 茉莉子さん プロフィール

- ・千葉県船橋市出身
- ・早稲田大学卒業後、広告代理店にて勤務、営業や法務の仕事に携わる
- ・7月から地域おこし協力隊として石鏡町へ移住し、現在に至る

【鳥羽に移住するまでの生活は？】

大学を卒業してから、広告代理店に12年ほど勤めていました。

広告代理店の仕事は営業から始まり、新聞社から広告欄を買って会社のお客さんに売る媒体営業や法務に関する業務などを行っていました。

営業をしていた時は特に忙しく、入稿の締め切りなどのため終電で帰ることもあったので、そこそこストレスフルな毎日を送っていたように思います。

【地域おこし協力隊になるうと思っただ理由は？】

昔から海が大好きで、海が近い土地に住みたいな、とずっと思っていました。

趣味でダイビングに行くことが多く、近いところでは地元千葉や神奈川の三浦、遠いところでは沖縄を中心に訪れていました。海の中を観察しているのが楽しくて、少し

【移住する前の鳥羽(石鏡)の印象は？】

移住を検討するまでは、鳥羽については真珠、水族館くらいしか知りませんでした。東京から非常に遠い、そんな感じで少し行きづらいな、という印象でした。

石鏡は、恥ずかしながら読み方すらわかりませんでした。



上田さんが暮らす石鏡町



中村市長から委嘱状を受け取りました



週末は石鏡神社でも働きます



海女さんに“てんぐさ”の話を伺いました



石鏡は海女が多いまち



石鏡漁港でまちのみなさんとおしゃべり

【実際の鳥羽(石鏡)での生活、人づきあい、食べ物とは？】

石鏡での生活は、海女さんの暮らしが時間軸になっているように感じています。

太陽が昇ると、漁のために起きてきた海女さんたちの元気なおしゃべりが聞こえてきます。

そして夕方楽しそうに井戸端会議をしています。日が落ちるとみなさん家へ帰っていきます。

ちょうど私が来たのが、ツバメの子育てシーズンだったのですが、ツバメと海女さんの生活リズムがほとんど同じなのに驚きました。朝晩早く、日中はせっせと働く。おかげで私も早寝早起きになりました。そして、結構みなさんお

しゃべり好きなのか、立ち話を楽しんでるかたが多いようで、コミュニケーションが密なまちだと思います。会話のコントのようにユーモアが効いているところは、関西に近いからかなと最近思っています。だから、笑っているかたが多いのかもしれない。

食べ物はやっぱりお魚がおいしいです。こちらに来て、近所さんにごちそうになったり、いただいたりしたもので、すべてがおいしいです。海の幸が目の前で捕れて、それをいただけるというのは本当にぜいたくです。

【鳥羽(石鏡)での暮らしの魅力は？】
なんととっても海だと思えます。海好きにはたまらない、

歩けばすぐそこに海があつて、海の中をのぞけば魚が見える、そこがとても魅力的です。夕方、港を散歩するだけでも、海に癒やされます。こんな美しい景色を毎日見られるなんて、幸せだと思います。また、都会に暮らしていた時には常に警戒心を持って生活していたのですが、石鏡はとても素朴で純粋なかたが多いように思います。仕事と生活が直結しているから、良いことと悪いことがハッキリしやすい分、みなさんシンプルなか考え方なのかな、と感じることが多いです。

それと、これは番外編ですが、女性のまちだからか、男性がとても紳士的だと思います。「重いものは女性には持たせない」というシーンを何度も目撃しており、そこに感動しました。

【地域おこし協力隊での活動ポイントを教えてください。】

石鏡に移住して一週間後に天王祭があり、その日は朝からお祭りの準備に参加させていただきました。

天王祭では、町民のかたが出し物の一つ一つ手作りして、みなさん一生懸命でした。お祭りでは一番盛り上がった

のは、町の若いかたが、地元の人気住民のモノマネをした時で、本当にこの町は、町自体が一つのファミリーのようなんだなと温かいものを感じました。

【地域おこし協力隊の活動でどんな活躍をしていきたいか？】

石鏡町は、素朴ではありませんが、昔ながらの港町で、すてきなところだと思います。

町のみなさんの人柄はもちろん、入り組んだ石鏡のまちのたたずまいや、海女さんが実際に捕ったものを使ったお料理、石鏡の海のおいしさなど、まだまだアピールできていないところが山ほどあると思います。石鏡のみなさんに教えていただきながら、その魅力の発掘とPRをしていきたいと思っています。

さらり・笑顔・輝くまち
鳥羽で暮らそう。

●とばぐらしのフェイスブック
鳥羽市へ移住・定住するための情報満載のフェイスブックもご覧ください。
<https://www.facebook.com/tobagurashi/>